防災ワンポイント 第37回 地震時の家具の危険性

じゃがいもずきん「ききぼう」くん

９月１日㈭10時00分に北海道シェイクアウトが実施されます。地震発生時にとるべき行動を事前に決めておき、実際に机の下などにもぐるなどの安全確保行動を行うことで、いざというときの対応を習慣づけることを目的としています。詳しくはホームページをご覧ください。

北海道シェイクアウト　検索

●シェイクアウトとは？

2008年にアメリカの研究機関が提唱した、新しい地震防災訓練の名前です。訓練は突然の地震から身を守るための「安全行動の１－２－３」について事前学習を行い、決められた日時にそれぞれがいる場所で一斉に行うことを基本としています。

日本のシェイクアウト訓練は2012年に始めて実施され、2015年度には日本全土で約527万人（うち北海道は約13万人）が参加する、大規模な訓練になっています。

●シェイクアウトに参加するには？

事前に上記の専用webサイトにアクセスし、申し込みフォームから参加登録を行ってください。参加費は無料です。また、訓練開始時刻に自動的にブザー音が鳴る訓練アプリも提供されています。詳しくは以下のwebサイトをご覧ください。

https://www.nttdocomo.co.jp/service/areamail/earthquake_warning/disaster_prevention/

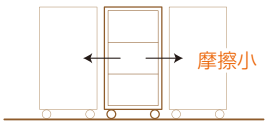
地震の時、周囲は危険？ シェイクアウトのほかに家具の見直しを行おう

地震で怪我の原因になる家具。地震時の家具にどのような危険があるか確認しましょう。対策方法は来月紹介します。

クェイク
長周期地震動から生まれたまもの。いたずらで室内をむちゃくちゃにかきまわす。

うごく

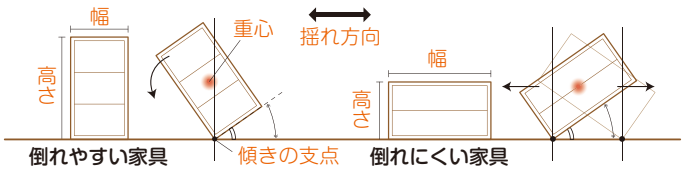
キャスター付きの家具は床との摩擦が少なく、震度５弱程度の揺れで「うごく」。特にピアノ、コピー機などの重量物は危険。



動きまわる家具

たおれる

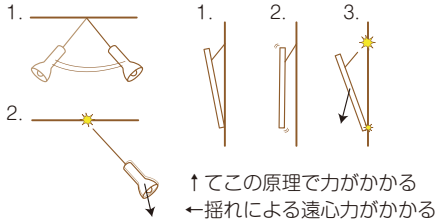
幅よりも高さのある家具は震度５強程度の揺れで「たおれる」。高さが高くなるほど重心も高くなり、弱い揺れで倒れやすくなります。



倒れやすい家具　倒れにくい家具

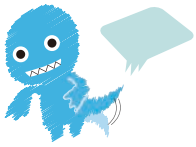
おちる

吊り具の固定点を基点とする揺れで遠心力がかかり、天井や吊り具が壊れて「おちる」。壁にかけた額も壁面との間にてこの原理がはたらき、固定金具がこわれ紐がはずれて「おちる」。

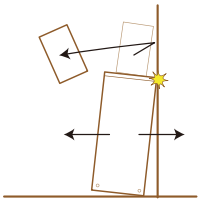


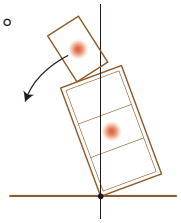
↑てこの原理で力がかかる
←揺れによる遠心力がかかる

とぶ

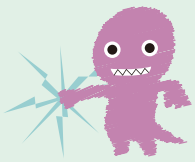


家具の上の物や食器などは動き回り、壁などにぶつかって「とぶ」ように落ちる。中には震動のエネルギーをため、本当にとぶものもある。




置かれた家具の動きも加わり、家具単体よりもとびやすくなります

われる



「うごく・たおれる・とぶ・おちる」の後、窓や扉のガラス、食器や陶器の置物など床に落ちたりぶつかりあって「われ」、破片が部屋中に飛び散り危険です。

出典：The Great Japan Shake Outホームページ

詳しくは、総務課 防災係まで。